

三條別院のご案内

真宗大谷派三條別院

TEL : 0256-33-0007

E-mail : sanjo-betsuin@wing.ocn.ne.jp

三條別院に想う

平成四年 初めて三條の別院を訪ねた。まだ僧侶でもなく、別院と教務所の違いも解らず、ただ大きな伽藍に感心した。当寺を継ぐ為の手続きを教えてもらいに来たのだが教務所のT氏は何も知らぬ小生に、じつに丁寧に噛み砕いて教えて下さった。まだ年若い彼の態度は好ましく、すれっからしの中年の心にも響くものがあった。この組織が好きになれそうな気がした。別院は会社でいえば支店、支社だと思っていた(今はそれだけではないと理解しているが)ので、住職になってショッチュウ顔をだした。寺院の事も僧侶の事も何も知らない(本当に何も知らなかった)小生を、よほど不安に思われたのだろう、いまは亡きW氏は何度も別院勤務終了後に正信偈、念仏和讃の勤め方、作法を当寺まで教えに来てくださった。時には同じころ教師を取得したH氏を伴い二人に稽古をつけてくださった。そして稽古の最後に勤め方―作法を指導するので「御取り越し」には必ず出仕するように念をおされて帰って行かれた。二十年も前の話である。こうして、その年より小生は、ろくに作法もわからぬのに、毎年報恩講に出仕

することとなった。

T氏、W氏をとおして知った別院は単なる事務所、宗教施設だけではなく、小生にとっては暖かく人の息づかいが感じられる場所であった。長く勤められたW氏、短い勤務だったが事務をとおして、その人となり伝わってきたT氏、いづれも人が、その組織の性格を作ってくれたのだと思う。また組織が、その様な人を生み出していったのかもしれない。別院が地域に溶け込み「ご坊様」と親しまれてきた背景には莊重な莊嚴、お勤め、絶えず開かれる法座、そして本願念仏の教えが具体化された職員姿が大きい。職員の皆さん、体をこわさず一生懸命働いてください。尋ねてくる人に親切であってください。そのなかで一人一人が仕事をとおした人との出会いに喜びを見いだし地域の中で生きてください。

(第十五組 淨福寺 青山信太郎 氏)

○次回の「三條別院に想う」は、

山宮 修靈氏

(第十五組 永閑寺住職)

より「ご執筆いただきます

別院 声明教室のご案内

昨年、十一月より全七回で開催された別院声明教室が六月十三日に最終回を迎えました。

教区声明講習会部門の島津 崇之氏(第十八組 満行寺住職)にご指導いただき、回を重ねる度に参加者が増えていきました。

次の声明教室は左記のとおり開催いたします。沢山の御参加お待ちしております。

◇日程

第1回 八月二十一日(水)

第2回 九月 十八日(水)

第3回 十月 十六日(水)

第4回 十一月 二十日(水)

第5回 十二月 十八日(水)

◇時間 十八時から二十時まで

◇講習内容

正信偈(草四句目下)、念仏讃(洵三、

回向(願以此功德)

◇講師

武田 徳広氏(第二十一組 西尊寺)

※詳しくは同封のチラシをご覧ください。



【指導の様子】

第十一組浄願寺が本堂修復によせて団参

五月二十九日、浄願寺仏教婦人会による団体参拝がありました。既にご案内の通り、当別院で二〇一五年に厳修される宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要の記念事業として本堂の修復が計画されております。



【内陣丸柱は金箔の剥落が著しい】

この度は、工事概要の説明を兼ねて諸殿拝観を行ってほしいと御依頼があり、「教区通信御遠忌特集号 三条別院整備事業進捗状況」を資料に、本堂・旧御堂・書院と破損・痛みの著しい修復予定箇所を中心に説明させていただきました。

本年の十一月のお取り越し報恩講の後に、工事が開始される予定になっております。崇敬区内の御門徒・御寺院の御懇志によつて修復される本堂の現状をご覧いただきたいと存じますので、是非ご来院ください。

朝の人生講座・夏の御文拝読

本年も左記のとおり朝の人生講座・夏の御文を開催いたします。

清々しい朝のひと時を仏法に触れながら三条別院で過ごしてみませんか。

◎人生講座終了後、簡単な朝食をお配りいたします。

※詳細は来月発送の案内チラシでご案内します。

◇日時 八月二十二日(木)～二十五日(日)

午前六時 晨朝 夏の御文拝読
午前六時三十分 人生講座

◇場所 三条別院本堂

◇講師

二十二日 多田 修氏(第二十組 照覺寺)
二十三日 関崎 智弥氏(第十八組 重蓮寺)
二十四日 齊藤 研氏(第十五組 正樂寺)
二十五日 中島 義紘氏(真宗学院第一期卒業生)

御命日(二十八日)の集い

宗祖親鸞聖人の御命日であります毎月二十八日に、「御命日の集い」を本堂にて、日中法要と法話、その後、座談会の場を開いております。どなたでもお参りいただけます。皆様のご参詣をお待ち申し上げます。

なお、前日(二十七日)はお速夜法要を、午後一時三十分よりお勤めしております。

【七月二十八日(日)】

午前十時 お勤め(御命日 日中法要)

文類偈 行四句目下

念仏讃 洵五

和讃 回口 次第六首

回向 願以此功德

◎今月の法話講師

神部 響 氏(第十三組 西方寺)

◇今後の講師一覧

八月 村山 まみ氏(真宗学院第一期卒業生)
九月 窪 智至氏(第二十組 常明寺)
十月 長尾 豊隆氏(第十組 浄覺寺)
十一月 關根 大丘氏(第二十組 松韻寺)
十二月 光井 栄史氏(第十六組 願善寺)

定例法話会のご案内

毎月十二日には、「両度の命日」と呼ばれている前門首のご命日です。また、蓮如上人も御文の中で、この「両度の命日」についてお書きになられています。(四帖目十二通)三条別院の一番古い建造物である旧御堂で仏法に触れるひと時を味わいませんか。

皆様、お気軽にお越しください。

◇日時 毎月十三日 ※八月、一月は除く

午後一時三十分より(二時間程度)

◇場所 三条別院 旧御堂

◇講師

五月～七月

佐々木 祐玄氏(第十五組 光善寺)

八月 休会

九月～十二月

山代 英世氏(第二十一組 浄泉寺)

真宗本廟御正忌団体参拝について

三条別院では、本年も本山、東本願寺御正忌報恩講の団体参拝を行います。



【佐々木祐玄氏】

◇期日 十一月二十七日(水)～二十九日(金)
詳細は案内チラシをご確認ください。

別院書道教室のご案内

昨年の十月より、当別院を会場に書道教室を開催しております。受講生を追加募集いたしますので、ご希望の方は是非ご連絡ください。

◇開催日 毎月二回(第二、第四水曜日)

◇時間 午後六時三十分～八時

◇募集人数 十名

◇講師 木原 光威氏(新潟県書道協会理事)

◇持ち物 筆(大・小)、硯、下敷、
文鎮、墨液、半紙、新聞紙

◇月謝 二五〇〇円(テキスト代含む)



同朋会館に宿泊される方へお願い

同朋会館に宿泊される方は、宿泊当日に同朋会館一階の事務所にございます宿泊者帳に記帳してください。その後、シートクリーニング代五〇〇円とシーツを交換させていただきます。

なお、宿泊される方は、翌朝七時より本堂にて晨朝が勤まりますので、お参りいただきますようお願い致します。

別院奉仕研修について

先達の篤き御懇念によって護持されてきた三条別院にお越しいただき、その歴史に触れていた

だくとともに、現代の様々な問題を抱える私たちが、真宗門徒として親鸞聖人のみ教えに出遇う、そ



【10 組修進員奉仕研修 (5/27・28)】

のような奉仕研修会を開いてみませんか。ともに語り合い、人間として生きる意味を尋ねていく場となればと考えております。

○日程及び内容について、ご要望等ございましたらご相談承ります。

○奉仕研修会を参加いただく方(団体)の、冥加金は左記のとおりです。

◎冥加金

・日帰り 一、五〇〇円
・一泊二日 二、五〇〇円

◎食事代(昼・夕食は業者発注のため)

・朝食代 五〇〇円
・昼食代 一、〇〇〇円程度
・夕食代 一、三〇〇円程度

三条別院巡回について

かつて三条別院の御影をお迎えし、各門徒のお宅で聞法会が頻繁に行われておりました。しかし、時代の流れや、世代の交代で今では数えるほどこしか行われていません。門徒の皆様をはじめ有縁の方にご案内いただき、三条別院巡

回がより多くの方々のお念仏をいただくご縁となりますことを、願っております。

※巡回の曜日・時間等はできるかぎりご都合に合わせてまいりますので、お気軽にご相談ください。

三条別院有志の会について

三条別院では「三条別院有志の会」という集いをもち、法話や座談会(茶話会)など、近隣の方をはじめ、有縁の方にお集りいただいております。現在十余名の有志の皆様によって活動しておりますが、「三条別院有志の会」では、より多くの方にご参加賜りたく、新たな参加者を募っております。お気軽にどなた様でもご来院ください。お気軽にご案内申し上げます。お問い合わせは三条別院まで。

◇◇編集後記◇◇

去る、六月二十一日、院議会(臨時会)が開催され、上記にある御遠忌法要の記念事業である、別院改修工事が全会一致で可決された。

私が勤めてから、お内陣はすでに金箔は剥げ、床もギンギシと音なる。その中で、毎朝晨朝を勤め、諸法要を厳修し、七年が過ぎた。それがお直しされるのであるから、有難いことである。

本年が現本堂で勤める最後のお取り越しとなる。お内陣に触れながら、過去の列座の苦勞、別院を御崇敬してきた同行の皆様のことを想い感謝するお取り越しにしたい。